

# 最先端研究レビュー (ステータス)





## **TODAY'S AGENDA**

- 1. ステータスとは**
- 2. 混同されやすい概念**
- 3. 3つの機能**
- 4. 変化をもたらす要素**
- 5. 実証研究レビュー**
- 6. まとめ・考察**



# 01\* ステータスとは

## ステータス (status)という概念の定義

ある製品やサービスのクオリティを代替する、アクター間の社会階層における相対的なポジション  
(金,2021)

# 01\* ステータスとは

元来、主として社会学者達によって進められてきた  
→近年、経営学(特に組織論や戦略論の分野)に研究が拡大



分野横断的な概念であるため、研究者間でステータスという概念の定義に  
差異があり、他分野で類似した概念との混同がみられる

# 01\* ステータスとは

## <Mertonの研究>

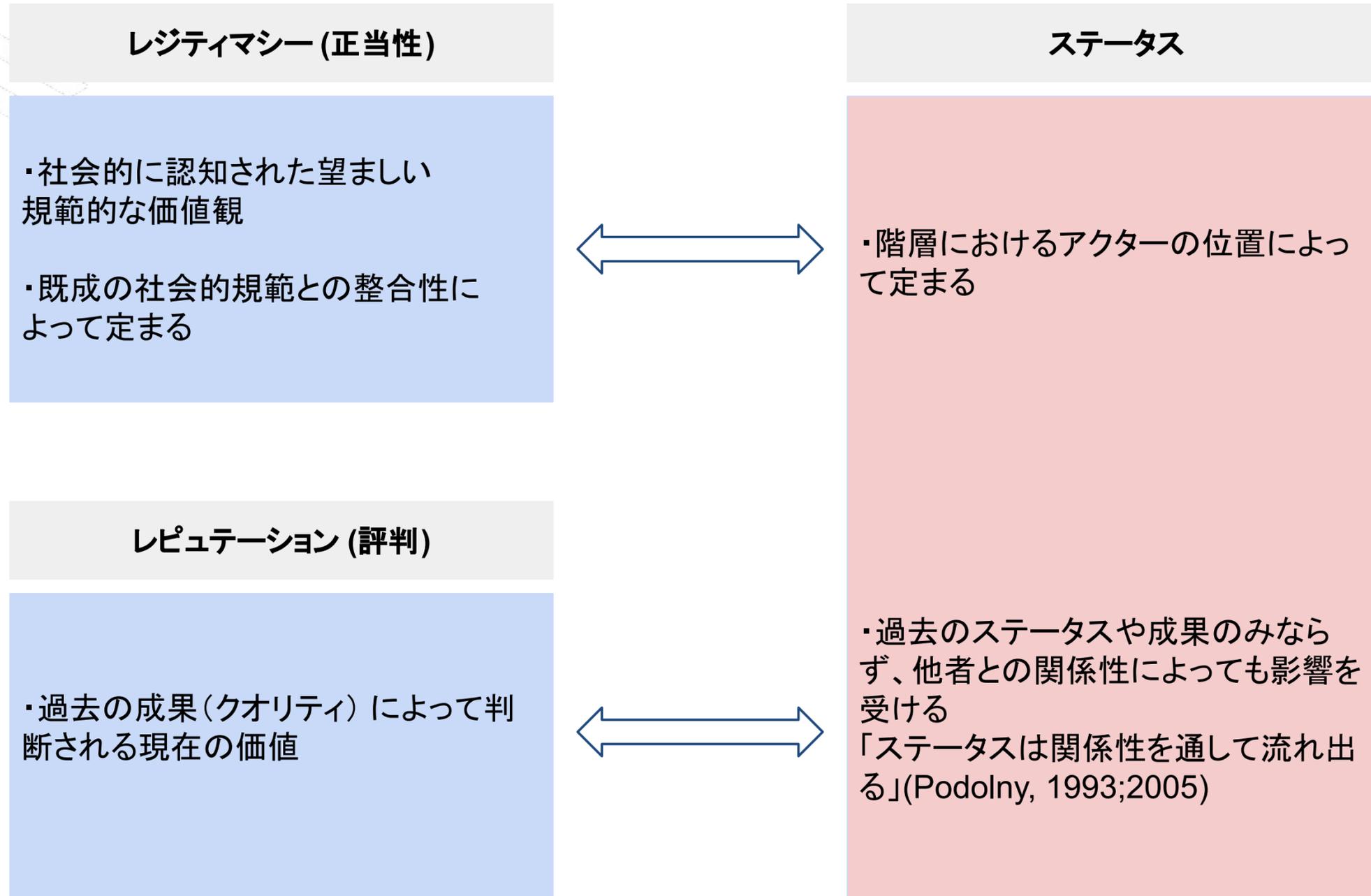
- ・実証的なステータス研究の始祖的な業績として評価される
- ・自然科学分野において知名度の高い研究者と若手研究者とが共同研究を行った場合、前者の方が後者よりも注目される傾向にあることを示した
  - ・『マタイ効果(Matthew Effect)』  
:ステータスの恩恵は、高いステータスを持つ者に対して、  
累積的に**増加**するが、  
逆に持たざる者は一向にその恩恵を  
**受けることができない**

# 類似の概念

ステータスとレジティマシー・レピュテーションとの相違点について



# 02\* Concept



3つの機能

# 03\* *Function*

# 3つの機能

ステータスの3つの機能について紹介



# 03\* Function

## 1.シグナルとしての機能

対象の情報が欠如している際に、ステータスがそれを補完する情報となる

## 2.社会心理的な機能

ステータスが個人に自信や高揚感or負担感を与える

## 3.社会からの期待形成

ステータスが社会からの期待を醸成する

# 03\* Function

## 1. シグナルとしての機能

その製品やサービスを供給しているアクターのステータスが、顧客にとって製品ないしサービスの質が不明確な場合に、彼らの意思決定に作用する (Podolny, 1993)

＜先行研究＞

Hope et al. (2011); 途上国の企業が、実態が不透明な先進国の企業を買収や合併を行う場合に、先進国という高いステータスへの期待や憧れから適正な金額を超えた支出が行われることを示し、アクターの意思決定にステータスが関わるということが明らかに。

企業に価値を与える一種の  
無形資産としての機能や、  
関係を持つアクターに保証効果をもたらす

# 03\* Function

## 2. 社会心理的な機能

### <先行研究1>

Faunce (1984); アクターは高いステータスを保持することで自己肯定感が生まれ、成果に正の影響を与えることを明らかに。

→「資産」としての機能

### <先行研究2>

Bendersky and Shah (2012); 米国のMBAプログラムに参加している中間管理者を対象に、プログラム内のステータスが個人の成果に与える影響を検証した結果、心理的な圧迫感から、むしろ最終的な成果(成績)が下落することが明らかに。

→「負債」としての機能

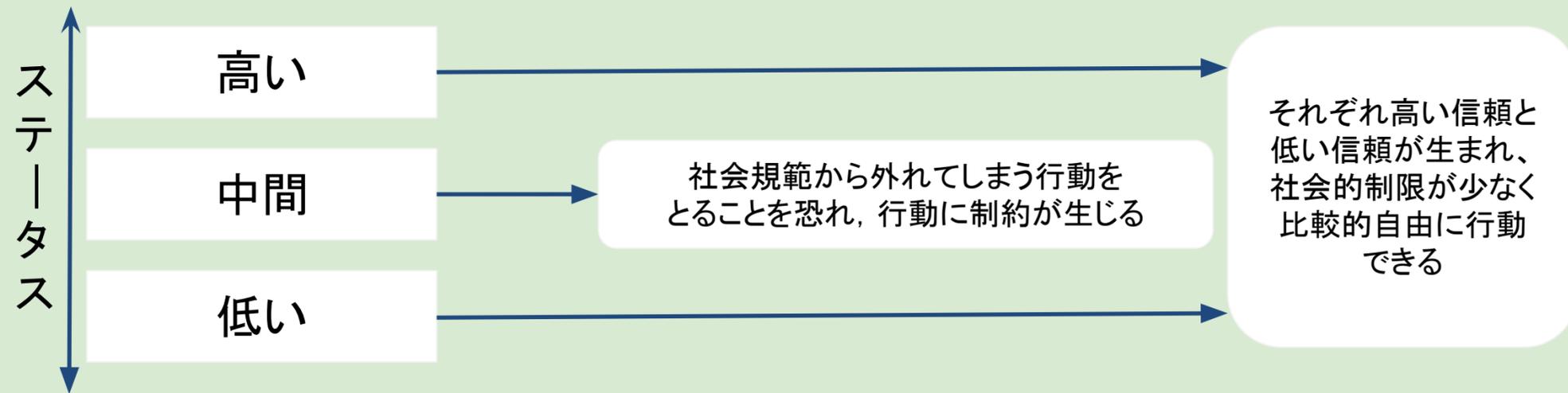
高いステータスを持つアクターが恩恵を受けるだけでなく、逆に高いステータスを持つアクターが本来保有する能力や成果を押し下げてしまう機能としても作用

# 03\* Function

## 3. 社会からの期待形成

<先行研究>

Philips and Zuckerman (2001)



ステータスに対する社会からの期待は、  
アクターの行動に制約をもたらす原因と  
なりうる

# 変化をもたらす要素

ステータスに変化をもたらす要素について紹介



# 04\* Factor

## 1. 過去の成果の影響

成果の高低がアクターのクオリティを示すため、過去の実績や成果によって高くなったり低くなったりする

## 2. 社会的関係性による影響

社会関係性の変化が  
ステータスの形成と変化に影響を与える研究が行われるようになった

# 05\* 実証研究レビュー

## BCS賞を用いた、高いステータスの維持が日本企業に与える影響の研究

杉村、新滝、中谷 (2023)

# 05\* 実証研究レビュー

## 研究の背景・目的

・**情報化** や **グローバル化** により、企業のイメージが容易に変化するようになったため、**ステータスがより重要視されるようになった**

しかしながら、、、

→研究は**海外**の対象が多く、国内は少ない

→ステータスの**保持期間**が与える影響について検証している事例が少ない

# 05\* 実証研究レビュー

## 先行研究

**+** 高いステータスを保持することで自己肯定感が生まれ、成果に正の影響を与える

**—** 心理的負担により成果を低下させる

Faunce(1984)

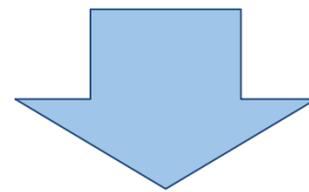
「資産としてのステータス」と「負債としてのステータス」に分類

→ステータスが上昇すると正の影響が見られるが、一定の基準を超えると負の影響が見られる傾向にある

Bothner et al.(2012)

## 05\* 実証研究レビュー

- ・他人志向の意識が強い文化を持つ日本 においては、社会的信用や規範の遵守が重視されているため、**ステータスの効力は比較的強い** のでは？
- ・日本企業は企業内での連携依存度が高く、成長が段階的であるため、**期待された成果が出せないことへの心理的負担は海外企業に比べて大きい** のでは？



**仮説「日本企業は高いステータスを長期間保持している場合、経営パフォーマンスに悪い影響を与える」**

# 05\* 実証研究レビュー

## 研究の対象

BCS賞の受賞数が多い上位 15社のゼネコン

BCS賞:これまで時代を代表する建築物を表彰してきた **権威ある賞**

BCS賞の受賞数が安定、受注による売り上げが大きく、過去の成果が重要視される

→他業界よりも **ステータス** が持つ効力が **大きい**

# 05\* 実証研究レビュー

## 研究方法

①売上高、②社長在任期間、③ M&Aの実施、④支店や研究所の新たな設置、⑤キャッシュフローの5つの指標から経営パフォーマンスを測る

## 従属変数の5つのデータ

- ①売上高: 各年度の売上高
- ②社長在任期間: 就任年度を0としてカウントアップ
- ③M&A: 実施された年度を「1」、実施されなかった年度を「0」とする
- ④視点や研究所の新たな設置: 設置された年度を「1」、設置されなかった年度が「0」
- ⑤キャッシュフロー: 好印象の経営と判断された年度を「1」、悪印象の年度を「0」

# 05\* 実証研究レビュー

統計ソフト: SPSS

①売上高と②社長在任期間は **重回帰分析**

③M&Aの実施、④支店や研究所の新たな設置、⑤キャッシュフローはダミー変数として **ロジスティック回帰分析**

独立変数: BCS受賞数の平均 →「ステータスの維持」

コントロール変数: 設立年数と各年度の従業員数

# 05\* 実証研究レビュー

## 研究結果

### 重回帰分析

- ・p値 $<0.01$  →この回帰モデルは **有意**
- ・モデルのフィット具合を表す決定係数は 0.803 →適合度80.3%
- ・企業の過去10年間のBCS賞受賞数の平均-1を表す「ステータスの維持」という独立変数が、従属変数である「企業の売上」に対して有意確率が 0.641→**有意でない**
- ・このモデルのRとR二乗はそれぞれ0.897と0.803→「ステータスの維持」という独立変数は「企業の売上」という従属変数に **強い影響を与えていない**
- ・「社長の在任期間」という従属変数に対して「ステータスの維持」という独立変数は **有意**  
**が見られなかった**

# 05\* 実証研究レビュー

## 研究結果

### ロジスティック回帰分析

- ・③M&A④支店や研究所の新たな設置⑤キャッシュフローという従属変数に対して「ステータスの維持」という独立変数は **有意が見られなかった**
- ・設立変数はM&Aの有無に対して、従業員数は支店の設置とM&Aに対して1%水準で**有意が見られた**

# 05\* 実証研究レビュー

## まとめ・考察

- ・日本企業は高いステータスを長期間保持している場合、経営パフォーマンスに悪い影響を与えるという仮説は **棄却**
- ・**設立年数** や **従業員数** がBCS賞以上に影響を与える

## 問題点

- ・BCS賞のみではデータが不十分だった可能性
- ・経営パフォーマンスについての吟味が不十分

# 06\* 参考文献

・金 柄式(2021)「ステータス研究の経営学的意義とその課題 ―組織論・戦略論研究の新たなる可能性―」

・杉村駿・新滝憲伸・中谷遼星 (2022).「BCS 賞を用いた, 高いステータスの維持が日本企業に与える影響の研究」.三田商学研究学生論文集, No.2022, 47-61.

▪ Benjamin, B. A., & Podolny, J. M. (1999). Status, quality, and social order in the California wine industry. *Administrative Science Quarterly*, 44(3), 563-589.

▪ Bothner, M. S., Kim, Y. K., & Smith, E. B. (2012). How does status affect performance? Status as an asset vs status as a liability in the PGA and NASCAR. *Organization Science*, 23(2), 416-433.

▪ Espeland, W. N. & Sauder, M. (2007). Rankings and reactivity: How public measures recreate social worlds. *American Journal of Sociology*, 113(1), 1-40.

▪ Faunce, W. A. (1984). School achievement, social status, and self-esteem. *Social Psychology Quarterly*, 3-14.

Gould, R. V. (2002). The origins of status hierarchies: A formal theory and empirical test. *American Journal of Sociology*, 107(5), 1143–1178.

▪ Gregg, A., Sedikides, C., & Pegler, A. (2018). Self-esteem and social status; Dominance theory and hierarchy in evolutionary psychological science. In T. K. Shackelford & V. Weekes-Shackelford (Eds.), *Encyclopedia of evolutionary psychological science*. Springer International Publishing AG, doi:10.1007/3

# 06\* 参考文献

- Hope, O. K., Thomas, W., & Vyas, D. (2011). The cost of pride: Why do firms from developing countries bid higher? *Journal of International Business Studies*, 42(1), 128-151.
- Lynn, F. B., Podolny, J. M. & Tao, L. (2009). A sociological (de) construction of the relationship between status and quality. *American Journal of Sociology*, 115(3), 755-804.
- Piazza, A., & Castellucci, F. (2013). Status in organization and management theory. *Journal of Management*, 40(1), 287-315.
- Podolny, J. M. (1993). A status-based model of market competition. *American Journal of Sociology*, 98(4), 829-872.
- Podolny, J. M. (2005). *Status signals: A sociological study of market competition*. Princeton University Press.
- Podolny, J. M. & Phillips, D. J. (1996). The dynamics of organizational status. *Industrial and Corporate Change*, 6(2), 453-471.
- Stuart, T. E. Hoang, H. & Hybels, R. C. (1999). Interorganizational endorsements and the performance of entrepreneurial ventures. *Administrative Science Quarterly*, 44(2), 315-349.
- Suchman, M. C. (1995). Managing legitimacy: Strategic and institutional approaches. *Academy of Management Review*, 20(3), 571-610.
- Washington, M., & Zajac, E. J. (2005). Status evolution and competition: Theory and evidence. *Academy of Management Journal*, 48(2), 282-296.
- Weber, M. (1978). *Economy and society: An outline of interpretive sociology (Vol. 1)*. Univ of California Press.



***THANK YOU***

ご清聴ありがとうございました。